

まえがき



毎年2回にわたり、県政の主要施策と県財政の状況について公表し、県民の皆様のご理解を頂いておりますが、今回は平成30年度当初予算と平成29年度下半期の財政状況についてご説明申し上げます。

最近の本県経済は、北陸新幹線金沢開業の効果を追い風に、鉱工業生産指数や有効求人倍率が、引き続き、全国トップクラスの水準で推移しており、日銀金沢支店によれば、北陸は東海と並び、バブル期以降で初めて「景気が拡大している」とされたところです。

また、本県の財政状況は、これまで職員数の削減をはじめとする行財政改革に取り組んできた結果、平成24年度から基金の取り崩しに頼らない財政運営を行っており、6年連続で収支均衡を達成することができました。

しかしながら、今後、社会保障関係経費の増加に加え、北陸新幹線金沢・敦賀間の建設費等が大きな歳出圧力となると見込まれることから、引き続き、持続可能な財政基盤の確立に向け、中長期的な展望に立った財政運営に取り組んでいかなければなりません。

平成30年度当初予算については、これまでの知事選挙の年と同様に、新規事業や政策性の強い事業など一部の経費の計上を見送った、いわゆる「準通年型予算」として編成いたしました。

一方、東京オリンピック・パラリンピックの開催時期を見据えて整備を進めている東京国立近代美術館工芸館の移転整備、金沢城公園の鼠多門・鼠多門橋の復元整備、金沢港の機能強化整備については、完成時期に遅れが生じることがないように、年度当初から事業の進捗を図る必要があることから、所要の額を計上いたしました。また、北陸新幹線の建設費負担金についても、工事を着実に進めるため、全額を当初予算に計上いたしました。

また、県民生活の安全・安心の確保、教育や福祉に関わる施策などについても、当初予算で怠りなく対応し、事業の進捗や県民生活に支障を与えることのないよう、十分配慮したところです。なお、6月補正予算において、新規政策経費を盛り込んだ肉付けを行うこととしております。

皆様の忌憚のないご意見と一層のご協力をお願い申し上げます。

平成30年6月1日

石川県知事 谷本正憲

もくじ

第1 平成30年度当初予算の概要	2
Ⅰ 予算はどのような考えで編成したのですか。.....	2
Ⅱ どのような事業が盛り込まれているのですか。.....	3
Ⅲ 予算額はいくらですか。.....	6
Ⅳ 必要とするお金はどうやって賄うのですか。.....	8
Ⅴ 予算はどのような目的に使われるのですか。.....	10
第2 石川県の財政状況	14
Ⅰ 石川県の財政状況はどうか。.....	14
Ⅱ 今後の財政見通しはどうなりますか。.....	24
第3 平成29年度下半期の補正予算と決算見込みの概要	26
Ⅰ 平成29年度下半期に編成された補正予算の主な内容は何ですか。.....	26
Ⅱ 平成29年度予算の執行状況はどうか。.....	30
Ⅲ 平成29年度の決算見込みはどうか。.....	31
第4 平成30年度当初予算を家計簿に例えると	32
資料編	35